

先週、日米の航空自由化交渉がまとまった。いわゆるオープンスカイ協定である。安倍政権の時代にアジアオープンスカイを進めていくべきだという提案が出た時期から、航空自由化の動きが少しずつ進展してきた。新政権になってからは前原誠司・国土交通相がオープンスカイに熱心であり、そうした一連の流れの上に今回の日米交渉妥結があると考えている。



伊藤元重の

ニュースな見方

航空自由化合意の意義

航空自由化合意の意義

（東大大学院
経済学研究科教授）

ではない。ただ、今回の交渉結果からいよいよつかの成

果が期待できる。今後の展開は若干流動的ではある。今回の自由化協定のもう一つの成果は羽田空港を利

果が期待できる。

今回の自由化協定のもう

田行きの便から米國西海岸

一つは日米交渉がまとま

一つの成果は羽田空港を利

便への乗り継ぎができるこ

ったことで、全日空とユナ

用した太平洋路線に道をつ

とになる。韓国の仁川空港

イテッド航空のような連携

けたことだ。深夜早朝を利

を經由するより、はるかに

関係にある航空会社が米國

用した太平洋便が羽田から

便利になるはずだ。

の独占禁止法の除外適用

飛べば、利用者にとっては

さて、今回の日米のオー

(ATI)を

申請でき、よ

格で海外旅

り踏み込んだ

連携を推進で

行ができる

きることにある。日本航空

特に羽田を深夜に出て米

とというメリ

についても、現在提携して

国の西海岸に夕方到着する

ットをもた

いるアメリカン航空とATI

便ができれば、その後の米

これまでもオープンスカイへ

Iの申請をすると予想され

国の他の都市や中南米への

この取組みが遅れた国の一

空との提携を求めており、

乗り継ぎも非常に便利であ

ついでであった。今回の協定締

るが、デルタ航空が日本航

国の他の都市や中南米への

結はそうした日本の遅れを

空との提携を求めており、

乗り継ぎも非常に便利であ

待できることから、全体と

るが、デルタ航空が日本航

国の他の都市や中南米への

取り戻すという意味でも大

空との提携を求めており、

乗り継ぎも非常に便利であ

い評価できる結果であ

るが、デルタ航空が日本航

国の他の都市や中南米への

る。

空との提携を求めており、

乗り継ぎも非常に便利であ

る。

るが、デルタ航空が日本航

国の他の都市や中南米への

る。

*この記事・写真等は日経新聞社の許諾を得て転載しています。